



教育目標 英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに

中野中学校だより

令和6年2月28日(水) 発行 第11号

『好きになること』

校長 田代 雅規

私立高校・都立高校の一般受検が終わりました。あとは、3月1日の結果を待つだけです。

全員が第一希望の高校に合格できれば良いのですが、思うようにならないこともあります。こんな実験があります。AからEまでの5種類の異なる絵があり、被験者にその絵の写真を好きな順に並べてもらいます。



A



B



C



D



E

その人の並べた結果は、A、B、C、D、Eの順番だったとします。その後、3番目と4番目の絵のどちらか好きな絵をプレゼントすると伝えます。被験者は、少し迷うかもしれませんが、普通の場合、最初により好きだと選んだ3番目のCの絵を選びます。

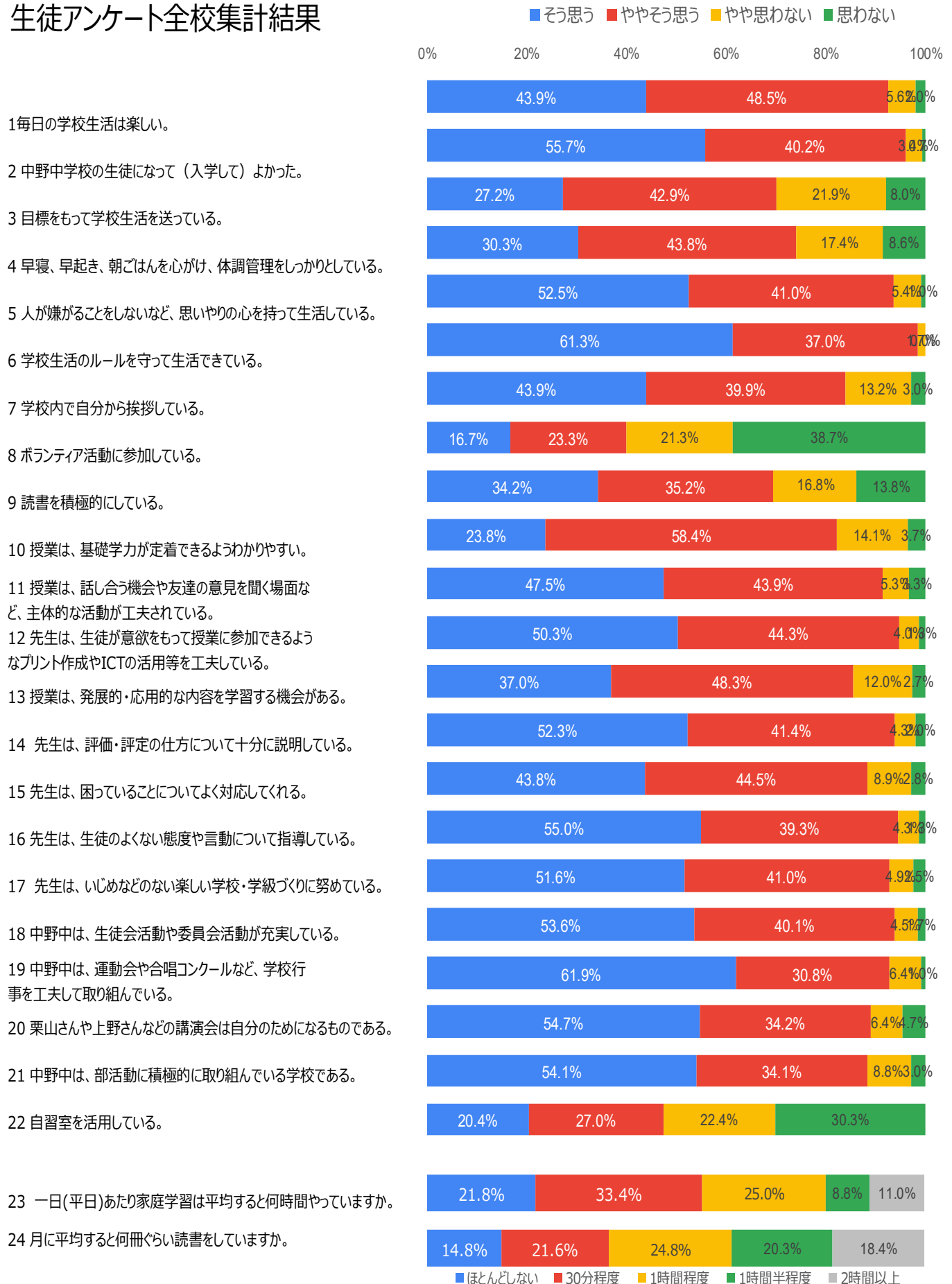
そして、何週間か経った後で、もう一度、AからEの5枚の絵を好きな順に並べてもらいます。この実験をすると多くの人が、1番A、2番C、3番B、4番E、5番Dという結果にするそうです。つまり、この実験から人は、自分が選択したCの絵をより好きになり、選択しなかったDの絵をより好きではないとすることが分ります。

これは、自分の選択が正しかったのだと思いたいという心理的なものからくるそうです。多少迷うことはあっても、自分で選んで決めてしまえば、それなりに満足できる方向に心が後押ししてくれるということなのだと思います。

また、この実験には続きがあるそうです。前の実験で3番目と4番目の絵から1枚を選択させた後に、1週間は交換可能という条件を追加します。するとどうなるでしょうか。3番目と4番目のうち、選んだ絵が好きという人の比率が大幅に低下したそうです。つまり、CかDかを迷い続けることが悩みになり、その原因でその絵も好きでなくなってしまうそうです。そして、交換可能な期間が終わってもCの絵の好感度は、最後まで上がることはなかったと言います。選択肢があることは、かえって幸せが減ってしまうということのようです。私たちは、選べないより選べた方が良く決まっていると考えがちですが、そうでない場合もあります。いつまでも悩むより、一つに決めてしまった方が後で幸せになれるということのようです。

都立高校の一般入試の結果ができれば、進学先も決まります。一番大切なことは、他の高校のことは考えず、自分を合格にしてくれた高校を好きになることです。中野中の3年生には、合格した高校を大好きになって欲しいと思います。

生徒アンケート全校集計結果



令和5年度・学校に関する生徒アンケート・集計の結果

全校生徒を対象に、学校生活に関するアンケート調査を実施しました。生徒が回答しやすいようにiPadを活用して実施しました。肯定的な評価（「そう思う」「ややそう思う」という回答の合計）の高いもの（90%以上のもの）は昨年4項目から11項目に増えました。

NO6	学校生活のルールを守って生活できている。	98% (△3%)
NO2	中野中学校の生徒になって（入学して）良かった。	96% (△9%)
NO5	人が嫌がることをしないなど、思いやりの心をもって 生活している。	94% (△5%)
NO12	先生は、生徒が意欲をもって授業に参加できるような プリント作成やICTの活用等を工夫している。	94% (△5%)
NO16	先生は、生徒のよくない態度や言動について指導している。	94% (△6%)
NO18	中野中は、生徒会活動や委員会活動が充実している。	94% (△7%)
NO1	毎日の学校生活は楽しい。	93% (△3%)
NO14	先生は、評価・評定の仕方について十分に説明している。	93% (△1%)
NO17	先生は、いじめのない楽しい学校・学級づくりに努めている。	93% (△5%)
NO19	中野中は、運動会や合唱コンクール等、学校行事を工夫している。	93% (△6%)
NO11	授業は、話し合う機会や友達の意見を聞く場面など、 主体的な活動が工夫されている。	92% (△1%)

No6からは、学校生活のルールを多くの生徒がきちんと守って生活できていることが分かります。学校の決まりなども生活委員を中心に話し合って決めています。自分たちで決めたことをきちんと守っていく中野中の生徒の素晴らしいところだと思います。

No19は、5月に新型コロナウイルスが5類になり、今まで通りの保護者や地域の皆様の参観が可能な行事を実施できました。中野中では、3年前の行事に戻るのではなく、昨年同様に生徒の実行委員を中心に自分たちで種目を考えて実施しました。運動会の委員もボランティア生徒を中心に行いました。合唱コンクールも生徒の実行委員会を中心に当日の司会・進行を行い、有志による合唱も行いました。さらに、生徒会主催の生徒総会や立会演説会等も紙の資料を削減して、一人1台のiPadを活用して行いました。これからも生徒が一番楽しみにしている学校行事では、生徒たちの意見を取り入れながら中野中独自の学校行事を作り上げていきます。

No11、No14は、学校生活で大切な授業の項目です。授業の項目は以下の結果でした。

NO10	授業は、基礎学力が定着できるようにわかりやすい。	82% (△0%)
NO13	授業は、発展的・応用的な内容を学習する機会がある。	85% (△1%)

新学習指導要領にある「主体的・対話的で深い学び」については、授業の中で話し合う活動を積極的に取り入れてきたことが生徒たちからも評価されました。また、評価・評定についても常に授業の中で、説明を



してから実施するようになってきました。そのことも多くの生徒たちから理解されていることが分かります。授業における基礎・基本の定着、発展的・応用的な内容の導入等は、数学や英語は、少人数習熟度別指導を次年度も実施しますが、他の教科でも実習や作業の時間等に少人数指導を取り入れて実施していきます。

逆に評価の低かった項目は、以下の通りです。

- NO8 ボランティア活動に参加している。．．．．．40% (▼10%)
- NO9 読書を積極的にしている。．．．．．69% (△6%)

ボランティア活動では、夏のサンプラザのさよなら盆踊りに70名の生徒が参加したり、野方警察主催の芋掘りボランティアに10名が参加したりしました。一人1台のiPadにボランティアの募集案内を送付していますが、まだまだ積極的に取り組めていないと感じている生徒が多いようです。ボランティアの案内や配信方法を次年度は検討していきます。

読書についてはスマホやタブレットの影響もあり、機会が少なくなっていることも分かります。学校では、朝読書や読書週間を設定し、読書活動の推進に努めていますが、「No23 月に平均すると何冊ぐらい読書をしていますか」という項目では、ほとんど読書をしない(14.8%)、月に1冊程度(21.6%)と読書の機会が減っていることが分かります。中学生は、部活動や習い事等、忙しいのは分かりますが、本の楽しさや良さをこれからも学校で指導していきます。

「No22 一日(平日)あたり家庭学習は平均すると何時間やっていますか。」という問いには、ほとんどしていない(21.8%)、30分程度(33.4%)でした。これは、塾の時間を除く勉強時間ですが、30分以下の生徒が50%以上いることが分かりました。試験前には、自習室で遅くまで勉強している生徒も増えてきました。これからも学習習慣の定着にむけて指導していきます。

- NO15 先生は困っていることについてよく対応してくれる。．．．．．89% (△5%)
- NO17 先生は、いじめなどのない楽しい学校・学級づくり ．．．．．93% (△5%)
に努めている。

精神的に不安定になったり、病気になったり、様々な課題を抱えている生徒たちがいます。スクールカウンセラーや養護教諭、児童相談所等とも連携しながら、全教員で対応してきました。100%の生徒が安心できるようにこれからも努力していきます。中野中では、年間3回「いじめアンケート」を実施し、いじめの早期発見・早期解決に努めています。アンケートだけでなく、常に生徒一人ひとりの様子に目をくばりながら丁寧な対応を行っていきます。

令和5年度 異動・退職する教職員のお別れの会

昨年度より、異動する教職員のお別れの会を3月中に実施しています。特に3年生は、卒業式の後になりますので、参加を希望する生徒は制服で体育館に集合してください。



お別れの会 日時 令和6年3月25日(月) 午前10時45分～11時15分 体育館